

各 位

フィデアホールディングス株式会社  
株式会社 荘内銀行  
株式会社 北都銀行

**平成 26 年 3 月期 第 2 四半期（平成 25 年度 中間期）決算概要について**

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 26 年 3 月期 第 2 四半期（平成 25 年度 中間期）の連結業績と株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：齊藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 26 年 3 月期 第 2 四半期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）連結業績

役務取引等収益の積み上げや市況環境の好転を背景に有価証券関係収益の計上により、前年同期比増収増益。コア業務粗利益経費率（OHR）は前年同期比 0.03 ポイント改善。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金、地方公共団体がいずれも増加し、前年同期末比 1,368 億円（6.0%）増加の 2 兆 3,828 億円。貸出金残高は、個人ローン、地方公共団体向けを中心に増加し、前年同期末比 525 億円（3.3%）増加の 1 兆 6,155 億円。

連結自己資本比率は、劣後ローン償還やグループ全体の業容の拡大により、前年同期末比 0.28 ポイント低下し 8.61%。連結 Tier I 比率は前年同期末比 0.23 ポイント上昇し 6.77%。2 行合算（単体）の金融再生法開示債権比率は前年同期末比 0.03 ポイント低下し 2.61%。

			フィデアHD				
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【連結】	損 益	経常収益	(1)	25,429 百万円	23,328 百万円	2,101 百万円	9.0 %
		業務純益	(2)	4,857 百万円	4,805 百万円	52 百万円	1.0 %
		コア業務純益*	(3)	4,476 百万円	4,391 百万円	85 百万円	1.9 %
		経常利益	(4)	5,200 百万円	4,419 百万円	780 百万円	17.6 %
		中間純利益	(5)	3,178 百万円	2,865 百万円	313 百万円	10.9 %
	経 営 効 率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(6)	76.26 %	76.29 %	△ 0.03 %	
	自己資本比率	自己資本比率	(7)	8.61 %	8.89 %	△ 0.28 %	
		Tier I 比率	(8)	6.77 %	6.54 %	0.23 %	
	主要勘定残高 ( 末 残 )	総資産	(9)	25,663 億円	24,357 億円	1,305 億円	5.3 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(10)	23,828 億円	22,460 億円	1,368 億円	6.0 %
		貸出金	(11)	16,155 億円	15,630 億円	525 億円	3.3 %
		有価証券	(12)	8,288 億円	7,523 億円	765 億円	10.1 %
	【合算】不良債権	金融再生法開示債権額	(13)	43,299 百万円	42,289 百万円	1,010 百万円	2.3 %
		総与信に占める割合	(14)	2.61 %	2.64 %	△ 0.03 %	

\*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）連結業績予想の上方修正について

当中間期の実績を踏まえ、経常利益は当初予想比 9 億円増益の 80 億円（前期比 10 億 62 百万円増益）、当期純利益は当初予想比 4 億円増益の 47 億円（前期比 4 億 71 百万円増益）と上方修正しております。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	経 常 利 益	(15)	8,000 百万円	1,062 百万円	15.3 %
	当 期 純 利 益	(16)	4,700 百万円	471 百万円	11.1 %

※平成 26 年 3 月期の配当については、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当を計画（年間 5 円）

（次ページへ）

## 2. 荘内銀行

### (1) 平成 26 年 3 月期 第 2 四半期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）単体業績

経常収益は役務取引等収益や有価証券関係収益の増加等により前年同期比増収。経常利益、中間純利益は資金利益の増加や有価証券関係損益の増加等により増益。中間純利益は中間期としては過去最高を更新。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前年同期末比 929 億円（8.5%）増加の 1 兆 1,777 億円。貸出金残高は個人ローンや地方公共団体向け貸出が増加し、前年同期末比 478 億円（5.8%）増加の 8,695 億円。

金融再生法開示債権額は、震災の影響を受け条件変更に応じた貸出金の返済再開等により要管理債権が減少し、前年同期末比 33 億円（16.8%）減少。総与信に占める割合は、0.52 ポイント低下し 1.89%。

単体自己資本比率は、劣後ローン償還や業容の拡大等により、前年同期末比 0.74 ポイント低下して 9.98%。

			荘内銀行				
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(17)	12,397 百万円	10,931 百万円	1,466 百万円	13.4 %
		業務純益	(18)	2,321 百万円	2,441 百万円	△ 120 百万円	△ 4.9 %
		コア業務純益*	(19)	2,350 百万円	2,290 百万円	59 百万円	2.6 %
		経常利益	(20)	2,803 百万円	1,569 百万円	1,233 百万円	78.6 %
		中間純利益	(21)	1,757 百万円	900 百万円	857 百万円	95.2 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(22)	16,792 百万円	20,191 百万円	△ 3,398 百万円	△ 16.8 %
		総与信に占める割合	(23)	1.89 %	2.41 %	△ 0.52 %	
		与信関係費用	(24)	417 百万円	129 百万円	287 百万円	222.1 %
	自己資本比率	自己資本比率	(25)	9.98 %	10.72 %	△ 0.74 %	
		Tier I 比率	(26)	7.82 %	7.62 %	0.20 %	
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(27)	11,777 億円	10,848 億円	929 億円	8.5 %	
	貸出金	(28)	8,695 億円	8,216 億円	478 億円	5.8 %	
	有価証券	(29)	3,605 億円	2,982 億円	622 億円	20.8 %	

\*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

### (2) 平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）単体業績予想の上方修正について

当中間期の実績を踏まえ、経常利益は当初予想比 2 億 50 百万円増益の 40 億円（前期比 2 億 72 百万円増益）、当期純利益は、当初予想比 1 億 50 百万円増益の 24 億 50 百万円（前期比 6 億 19 百万円増益）と上方修正しております。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常利益	(30)	4,000 百万円	272 百万円	7.3 %
	当期純利益	(31)	2,450 百万円	619 百万円	33.8 %

(次ページへ)



### 3. 北都銀行

#### (1) 平成 26 年 3 月期 第 2 四半期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）単体業績

業容は順調に拡大。譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期末比 445 億円（3.7%）増加の 1 兆 2,186 億円と伸張。貸出金残高は、個人ローンや地方公共団体向け貸出の増加により、前年同期末比 51 億円（0.6%）増加の 7,588 億円。

加えて、積極的なコンサルティング営業の展開による預かり資産販売手数料の増加や有価証券関係収益の増加等から、増収増益。

金融再生法開示債権額は、きめ細かな経営支援等を推進したもののお取引先の業況の変化等により、前年同期末比 44 億 8 百万円（19.9%）増加。総与信に占める割合は、0.55 ポイント上昇し 3.44%。

単体自己資本比率は前年同期比横ばいの 9.27%。一方、業容の拡大などがあったものの、内部留保の積み上げにより、Tier1 比率は前年同期末比 0.05 ポイント上昇して 7.69%。

			北都銀行				
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(32)	11,501 百万円	10,973 百万円	528 百万円	4.8 %
		業務純益	(33)	2,157 百万円	2,312 百万円	△ 155 百万円	△ 6.7 %
		コア業務純益*	(34)	1,769 百万円	1,544 百万円	225 百万円	14.6 %
		経常利益	(35)	1,825 百万円	1,646 百万円	179 百万円	10.9 %
		中間純利益	(36)	953 百万円	903 百万円	50 百万円	5.5 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(37)	26,506 百万円	22,098 百万円	4,408 百万円	19.9 %
		総与信に占める割合	(38)	3.44 %	2.89 %	0.55 %	
		与信関係費用	(39)	460 百万円	232 百万円	228 百万円	98.1 %
	自己資本比率	自己資本比率	(40)	9.27 %	9.27 %	0.00 %	
		Tier I 比率	(41)	7.69 %	7.64 %	0.05 %	
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(42)	12,186 億円	11,740 億円	445 億円	3.7 %
		貸出金	(43)	7,588 億円	7,537 億円	51 億円	0.6 %
		有価証券	(44)	4,768 億円	4,625 億円	142 億円	3.0 %

\*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金繰入額

#### (2) 平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）単体業績予想の上方修正について

当中間期の実績を踏まえ、経常利益は当初予想比 1 億円増益の 30 億円（前期比 9 億 63 百万円増益）と上方修正しております。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常利益	(45)	3,000 百万円	963 百万円	47.3 %
	当期純利益	(46)	1,700 百万円	494 百万円	40.9 %

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

大石 TEL : 022-290-8800  
 フィデアホールディングス IRグループ 佐藤 TEL : 023-626-9006  
 市田 TEL : 018-837-1726

くわしくは、「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。